

## 特産品青果物をはじめ様々な作物の栽培を学ぶ 複合経営の広がりを目指し栽培講習会を開催

J A 青果物連絡協議会と能代市農業技術センターが主催する、冬期野菜栽培講習会が2月4日と5日の2日間にわたり、能代山本広域交流センターで開催されました。

冬場の農閑期を利用して毎年行われるこの講習会では、農家の野菜栽培知識や技術アップを図り、安定した複合経営につなげることを目的として行います。

2日間で7講習が行われ約200名の生産者が参加し、主力作物のねぎの品種特性の指導のほか、トマトやりんどうなど需要のある人気野菜の栽培や土づくりについて説明が行われ、参加者は野菜の栽培管理や病害虫の効果的な防除等について学びました。



▲管内から多くの生産者が訪れた講習会

## 栽培1年目の管理作業について学ぶ りんどう新規栽培者講習会を開催



▲栽培方法の説明を受ける参加者

用が転作田を有効に活用できる、水田土壌の相性が良いと、どの新規栽培者講習会でも2月17日に能代市農業技術センターで開催されました。

当日は、新規栽培者やJA、山本地域振興局職員、農業者など13名が参加し、年度から取り組むりんどう栽培について、明瞭な説明を受けました。

当者からは、圃場の選定方法や耕起、畝立てなど、特に1年目の栽培体系について話しがされ、圃場の乾燥が春に向けて雪を融かすことが重要と説明しました。

雑草防除について質問が出され、雑草防除剤の活用について見が交わされました。



## 27年産米の生産数量目標を示す 農業協同班長会議を開催

平成27年度の農業政策を各地区の協同班長へ周知するため、2月18日に能代市文化会館と二ツ井町庁舎で農業協同班長会議が開催されました。

このうち能代地区で行われた会議には、約70名の協同班長が出席。平成27年産米の生産数量目標は作付配分率56・83%、転作率43・17%とすることが説明されました。

また、平成30年度の生産調整廃止を見据え、平成27年産米から導入される、自主的取り組みの目標値や減反面積の対して支払われる産地交付金は、市町村単位ではなく、全県一律で助成されるなど、説明が行われ、参加者は新年度の農業政策へ理解を深めていきました。



▲生産調整や転作実施状況についても説明された

今月のあなたの運勢 (2015年4月)



牡羊座 (3・21 ~ 4・19) 何事にも意欲的に取り組みます。やってみたら良かったことを始めれば、思った以上の好結果に。お花見にもつき